

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	府立藤井寺工科高等学校
校長名	松本 悠紀夫

開催日時	令和 7 年 11 月 20 日 (金) 15:30 ~ 17:00
開催場所	本校 同窓会館 2階
出席者(委員)	会長、委員 計6名
出席者(学校)	校長、教頭、事務部長、教員 計12名
傍聴者	無し
協議資料	学校経営計画、学校状況報告(各部、各学年)等
備考	

議題等(次第順)	
(1) 挨拶	(1) 挨拶
(2) 報告	(2) 報告 ・学校経営計画及び学校評価(進捗状況)について ・学校特色枠について ・本年度学校状況報告について 教務部(教科書の採択について) 進路指導部 総務部 生活指導部 保健相談部 第3学年 第2学年 第1学年
(3) 連絡事項	(3) 連絡事項
(4) その他	(4) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
【がん教育】	・がん教育講習は毎年行っているのか。また、その内容はどのようなものか。 ⇒今年が初めての実施であり、来年以降の実施は現在は未定である。 ⇒大阪府内のすべての学校で実施するよう教育庁より指示があり、がん患者に寄り添う等についてを専門医や看護師等に講演いただく。本校では看護師に講演いただいた。
【学校PR】	・学校特色枠について正式な発表はいつか。また、学校特色枠による高校側のメリットは何か。 ⇒教育庁が調整しているため詳しくはわからない。今年度中の発表とは聞いている。 ⇒特色枠を設けることにより学校の特色や求める生徒を強い方向性をもって提示することができる。本校であれば、学力検査に囚われず、ものづくりがしたい生徒や本校で活躍したい生徒を集めるために枠を設けた。 ・Instagramを含めSNSの現状はどのようにになっているか。 ⇒クラブ活動や学校行事の様子を頻繁に掲載しており、授業や実習の様子についても積極的に発信している。特に実習風景は、中学生にとって見慣れない光景であるため、本校の新しい魅力や発見につながることを期待して掲載している。 ⇒部活動では、SNS担当者がサッカー部顧問を兼任しているため、対外試合や中学校向け練習会などの告知も積極的に行っている。過去には1つの記事が約10万回再生された事例もあり、情報発信の効果が非常に高いことが確認できている。 ⇒本校のInstagramフォロワーは、藤井寺市・大阪市・羽曳野市・八尾市・富田林市の居住者が全体の50%以上を占めている。属性別では、男性の約38%が中学生・高校生であり、女性の約86%が保護者世代に該当している。 これらの結果から、当初想定していたターゲット層に効果的にリーチできており、情報発信が狙い通り「刺さっている」と考えられる。 ・中学校訪問でのPRポイントとそれに対する中学校側の反応はどのようなものか。 ⇒中学校訪問では、学校概要、系ごとの授業の内容、公式SNS、その中でも特に在校生(中学卒業生)の情報共有について話している。資格取得については、細かい話ではなく「卒業までに1つ以上の資格をとらせる」ことに力を入れているとアピールしている。 ⇒中学校側は、もともと馴染みのなかった工科高校のイメージが湧いた等の反応があった。 ・入学希望者には学校に足を運んでほしい 実際の授業風景を見てもらえたらもっと希望者も増えるのではないか。
【組織変更】	・組織変更の意味、目的は何か。 ⇒首席が分掌長をかねているため、学校全体を俯瞰して観ることが難しい状況にある。教頭業務のサポートや学校全体のフォローアップができるよう分掌長等と兼務をさせない体制に変える。また、国会で決定した主務教諭が設置される予定。主務教諭と首席の業務の違いを明確にすることも含まれている。
【その他】	・委員になってから初めて授業見学をさせていただいたが、生徒はしっかり授業を受けていると感じた。 ・高校3年生の生徒は、中学1年生の時にコロナ対応のため学校行事がなくなった年代である。最後の体育祭が全学年一斉開催でできて本当に生徒たちは喜んでいた。

次回の会議日程	
日時	令和7年1月下旬～2月上旬頃
会場	本校 同窓会館 2階